

多摩川では、
泳がないでください。

多摩川には、
入らないでください。

お願い
です。



河川での事故は、瞬間的に発生し、**約1分**で致命的な状況になります。消防隊の到着には、少なくとも数分間が必要です。川には、「流れ」があり、状況が変化するため、水の中にいる人を救助することは困難を極めます。だから、事故が起きないよう「**多摩川では、泳がない**」、「**多摩川には、入らない**」でください。



羽村大橋付近では、過去に、複数件、水難事故が発生しています。



人工物が設置されており、川の流れの変化が大きい。



川は、浅いところから、急に深くなるところがある。

令和7年4月 福生第●●学校

特に、この場所が危険

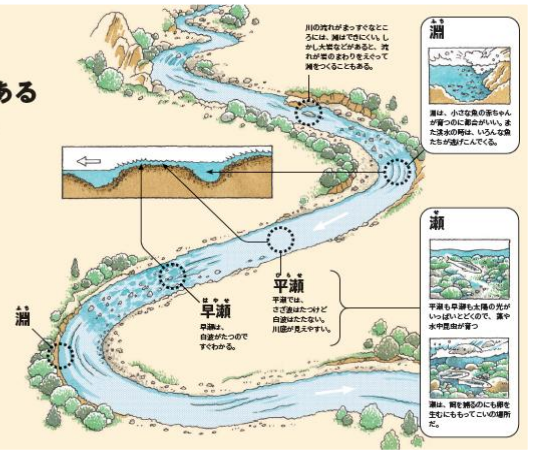


二ヶ領上河原堰 (多摩川)

河川構造物等の付近は、急な深みや複雑な流れなどが潜んでいます。近寄らない、転落しないよう、気を付けましょう。

川には、浅いところと深いところがある
流れの様子も常に変わる

川底の形は水の流れ方や強さなどで変化します。流れの速い「瀬」は浅く、流れがゆるやかな「淵」は深い。川にすむ生き物たちにとって瀬と淵はそれぞれ役割があり、大切な場所となっています。流れがあることにより、川には浅いところと深いところが存在しています。ひとりに川といっても、場所によって深さや流れの様子は一定ではなく、それらが複雑に絡み合っているのです。



No More 水難事故2024
(公益財団法人 河川財団)
水難事故に関する情報や、川や水辺の安全利用についての資料です。



リーフレット
『ストップ！河川水難事故
故リーフレット～急な増水に備えて～』
(国土交通省)



e-Lifesaving
守ろう！いのち
学び合おう！水辺の安全
(公益財団法人日本ライフセービング協会)

川を特徴を知ること、**命のリスク**から、**身を守る**ことにつながります。